ふじの山岳会ニュース

発行日　平成２４年12月１８日
発行者　藤野山岳会編集委員会
杉本憲昭　687-2418

2012年12月号

１２月定例会報告

藤野山岳会の例会は12月13日㈭20:00～藤野開発に於いて開催されました。
出席者は５名でした。（遠藤　山崎通　真屋　杉本　岸）

山岳会経過報告

11月16日　健康ハイキング　公民館館活動協力３０名
11月23日　神の川ウォーク　遠藤　杉本　山崎通　岸　関戸他
11月25日　広河原植林シカ柵整備事業
11月30日～12月３日　　香港トレイルレース研修１５名
　　小池2　真屋2　杉本2　倉田2　遠藤2　林　小林 本多 佐藤 岸
12月１日　神奈川県山岳連盟代表者会議　杉本　小池
12月８日　神社桜のプロムナードボランティア　8:30～10:30
　　遠藤　山崎通　真屋　岸　杉本2　林　春田　倉田義　落合１０名
12月８日　山岳会忘年会　会員25名　いやしの湯
12月９日　国道20号線吉野花だまりクリーンキャンペーン　Am8:30～10:30　15名
12月９日　　津久井青年会議所３０周年記念　杉本招待（城山中沢体育館）
12月10日　ＮＥＳチャンピオンシップ4名　事務局会議　杉本　千田　福田　杉本岳
12月11日　北丹沢山岳センターサポーターの森　茂氏1年間ご協力有り難うございました。
　　神大山岳部より樋詰順郎さんがサポートすることになりました。

事業計画

各事業に多くの参加をお願いします

１月元旦　　旧藤野落合集合８時～陣馬山頂　信玄小屋１０時～
１月　　三ツ沢峠ハイク　リーダー小池栄一郎　参加者募集
２月16日　　藤野山岳会結成５６周年　杉本事務局長環境大臣表彰祝賀会
３月９日(土)　北丹沢12時間山岳耐久レース１５周年記念祝賀会　いやしの湯於いて
３月20日　　「積石」原稿〆切
３月24日(日)　峰山風っ子トレイルサポート　協力者募集
４月７日(日)　国道２０号線吉野花だまり 8:30～　藤野山岳会総会 13:00～
４月14日(日)　北丹沢神の川流域の山開き
４月21日(日)　東丹沢宮ヶ瀬トレイル大会

神奈川新聞　2012年（平成24年）12月7日　金曜日　A版　社会 24

丹沢目指す山ガール

紅葉シーズン、山小屋盛況

客層「様変わり」

“神奈川の屋根”丹沢の登山風景に異変が起きている。ことしの紅葉時季には各山小屋に定員を超える客が泊まり込むほどの盛況。特にカラフルな登山服の“山ガール”ら20、30代の若者が目立ち、山小屋の従業員も「すっかり様変わりした」と驚いている。（望月寛之、佐々木航哉）

11月中旬のある土曜の朝。小田急線渋沢駅（秦野市）に下り電車が止まると、多くの人がわれ先にと改札口へ駆けだした。人の波は猛スピードで丹沢の玄関口・大倉行きのバス乗り場へと流れる。すでにバスは満員だ。

日曜朝の秦野駅前でも、ヤビツ峠行きに約100㍍ほどの列ができた。臨時バスの手配をしていた職員は「晴れた土曜の朝にはこの2、3倍」と説明する。

神奈川中央交通によると、ヤビツ峠行きは11～11月で342本増便しており、昨年1年間の277本より大幅に増えた。大倉行きも1月までで229本増便し、すでに昨年の91本を上回っている。ことし初めて平日も増便したという。秦野市商工観光課は、実数は把握していないとしながらも「ここ2、3年ぐらい、本当に山ガールが多い」と肌で感じている。

県内最高峰の蛭ケ岳（1673㍍）山頂の蛭ケ岳山荘では、ある週末、40人ほどの定員を大幅に超える登山客が押し寄せたため、夕食を3回に分け、一つの布団に2人で寝る光景も見られた。十数年働いているという従業員は「以前は中高年が中心だったけど、この数年は若い女性が増えて様変わりした」と驚く。

1950年代にエベレストやマナスルなど8千㍍級の山々の初登頂で戦後初のブームが起こった。90年代に中高年の山歩きが流行、いま第3のブームが到来しているという。

同山荘を経営するNPO法人北丹沢山岳センターの杉本憲昭理事長は、若者の増加について「（2007年に）高尾山がミシュラン・ガイドに選ばれてからではないか。登山服も良くなった」と分析する。

秦野駅前でヤビツ峠行きのバスに並んでいた女性（39）も「会社の中国人が富士山のことを話していて、自分も登りたいと思い、丹沢から始めた。ファッションも楽しめるし、いろんな人と組んで登れるのも魅力」と話す。

だが、危険もある。鍋割山では11月上旬、会社員女性（27）が滑落、重傷を負った。午後7時すぎで山中は真っ暗、普通の登山者なら歩かない時間帯だ。秦野署は「下山開始時間が遅く、焦って道に迷ったようだ」と分析。登山計画の甘さからこうしたケースが散見されるという。

食料や水も持たず、中には午後3時から登り始める人も。「山に気軽に行くのはいいが、なめているところもある。準備や計画をしっかりして入ってほしい」と呼び掛けている。

紅葉時季で多くの登山客でごった返すヤビツ峠行きバス乗り場＝小田急線秦野駅

山岳会結成５６年を記念して「積石」を発行します

（昭和３２年９月結成）
各会員は、原稿１編を平成25年３月20日まで事務局にお寄せ下さい。内容は自由です。　「トレイル」「藤野やまなみ祭」「山岳会例会」「忘年会」「ハイキング」「個人山行」「趣味」「香港トレイル」など　　よろしくお願いいたします。

藤野山岳会結成５６周年記念祝賀会
山岳会事務局長　杉本憲昭環境大臣表彰記念祝賀会

県立藤野芸術の家で藤野山岳会藤野山岳会結成５６周年山岳会事務局長の杉本憲昭氏が環境大臣表彰を受けました。この２つの偉業についてイベントを行います。

①藤野山岳会結成５６周年記念の山岳写真展を会員を中心に行います。
なお、ゲスト参加者として写真家の世界No.1の白旗史朗氏、丹沢の専門の写真家白井源三氏、蛭ヶ岳山荘管理人、木全広幸氏（津久井観光協会主催）、神ノ川ヒュッテ原孝さん、酒包英樹さん、山岳会会員の写真など多くの参加者が出席します。
　　写真展は、プロムナードで２月　　日～２月　日迄。

②藤野町山岳協会会長で藤野山岳会事務局長が丹沢山塊の自然歩道や環境活動に対して貢献したことにより、環境大臣より感謝状が贈呈されました。

この２つの記念すべき事に藤野山岳会は、実行委員会を作り行事を進めます。
日時　平成２５年２月１６日（土）午前10:00～午後13:00
会費　2，000円

実行委員長	遠藤勝己	理　事	和泉　悟
副　〃	小池栄一郎		小池千恵子
〃	真屋　幸雄		岸百合子
〃	倉田義和		小林勝子
事務局長	山崎通昌		土屋　実
次長	佐藤忠夫		外山雄幸
会　計	春田美知子		倉田美江子
〃	林まさ子		山方睦子

日本トレイルの３大レースに成長した北丹沢12時間山岳耐久レースが第15回を迎えました。この間ご協力頂いた競技団体、後援、協力、協賛等の団体70～80団体へ感謝状を贈呈いたします。

北丹沢12時間山岳耐久レースの拠点、津久井（緑区）青根休暇村食堂に於いて
２５年３月９日（土）Am11:00～pm.13:00開催します。
各トップ選手へもご案内いたします。
当日は、昼食を用意しますのでご気軽にご参加下さい。
。　トレイル大会の日本の位置付けは、ＵＣＲが登場したことにより、トップ、ＵＣＲ長谷川カップ、北丹沢山岳耐久レースと３位に位置付けは変わりました。

ＮＥＳチャンピョンシップ
１２月１５日（土）藤野芸術の家にて100名の表彰選手、役員が集まりＮＥＳチャンピョンシップになった選手を表彰しました。

１２月１５日（土）藤野芸術の家にて開催されました。
表彰選手137名の内61名と役員ボランティア約100名が参加しました。
司会は、ミュージシャントレイルランナーの福田六花、女子トップランナーの、間瀬ちがやの2人で進められました。
当日音楽家の格調高い出演で多いに盛り上げました。

藤野神社「桜コース」のハイキング道の整備

１２月８日㈯に藤野山岳会と藤野観光協会事務局で実施する。
ＪＲ藤野駅北側より西側に派生する岩戸山、小渕山、鷹取山のハイキングコースは、通年ハイカーで賑わっています。
このコースの藤野神社の手前コースは、桜のプロムナードとなっていますが、近年は道の手入れもなく荒れ放題となり通行が出来ませんでした。
このハイキングコースの改修に、藤野観光協会事務局の呼びかけにより、藤野山岳会の忘年山行に合わせ１２月８日に実施しました。
ハイキングコースは整備され、春のハイカーを迎えるまでになりました。

藤野山岳会忘年会に25名参加　青根いやしの湯に於いて

藤野山岳会の恒例の忘年会は、昨年に続いて今年も１２月８日(土)青根いやしの湯で開催されました。
この日は、今年一番の寒い日で蛭ヶ岳では、吹雪となっていました。旧藤野庁舎へ午後5:00に車で迎えに来て頂きました。
忘年会には、小池栄一郎、杉本憲昭、土屋実、井上佳邦、北丹沢山岳センター、北丹沢12H山岳耐久レースからのお祝い金と、小池夫妻より大量に柚子のプレゼントがありました。去りゆく年に感謝し、迎える年にしあわせを！
参加者（順不同）
　遠藤勝己　真屋玲子　山口　　和泉悟　荒井一美
　土屋雅子　小池栄一郎　山崎通昌　小林勝子
　佐藤忠夫　小池千恵子　倉田美江子　真屋幸雄
　春田美知子　山崎弘武　山崎昌子　林まさ子
　山方睦子　岸百合子　倉田義和　杉本里子　和泉夫人
　会員外　加藤博恵

国道20号線吉野花だまりクリーン活動

12月９日㈰午前８:30より 実施する

国道20号線吉野花だまりの清掃は、20年間も藤野山岳会と藤野町山岳協会の手で年３回以上（４月、６月、９月他不定期）続けられています。
12月9日㈰の清掃活動は会員を始め15名の参加者を得て実施しました。
落ち葉や、飲食物の残骸が大量に捨てられゴミ袋（20、30、40㍑）３２袋の約３００kg以上が収集されました。
吉野花だまりは、20号線を利用する自動車運転手のひとときの休憩所にもなっていますが、エチケットは良くなく、対策に苦慮しています。
参加した会員は、“自分の庭をこんなに汚すでしょうか？”と、苦言を呈していました。
次回は来春４月７日㈰AM８：３０に国道20号線
　　吉野花だまり集合
参加者　山崎昌子　真屋玲子　小林勝子　倉田美江子
　　杉本里子　遠藤勝己　真屋幸雄　佐藤忠夫
　　和泉悟　杉本憲昭　市川博史 他

次回ＦＭＣ例会

1月17日㈭ 20:00～ ㈲藤野開発
例会にぜひ、多くの参加をお願いします